



2025年度に「東京慈恵会 教務主任養成講習会」を再開します ～2022年度以来の開講 明日の看護教育を担う、質の高い教育管理者（リーダー）を養成～

公益社団法人東京慈恵会は、看護師等養成校において教育の中心的役割を担う「教務主任（リーダー）」の養成講習会を2025年度から再開しますのでお知らせいたします。

従来通りの充実したカリキュラムと講師陣に加え、その年のトピックスをテーマとした特別講義なども組み入れ、教育の質を維持しつつ、「短期集中」「納得の受講料」「対面とオンラインのハイブリッド受講可」の諸点を取り入れ、受講者の更なる満足度向上が図れるようにいたしました。

開講は2025年5月から、募集人員は25名となります。

<教務主任講習会とは>

「教務主任養成講習会」は、厚生労働省が承認した教育課程であり、看護師等養成所において統括的役割を果たすために必要な能力を開発する教育を行います。

<東京慈恵会が実施する教務主任養成講習会について>

「東京慈恵会 教務主任養成講習会」は、2012年度に第1回を開講して以来、合計10回開催され、北海道から沖縄まで全国で165名の修了生を送り出しました。当講習会の修了生は、講習会での学びを活かし看護教育の質向上のために全国各地で活躍しています。

当講習会は2020年度は新型コロナウイルス感染拡大で休講、また、諸般の事情により2022年度開催を最後に2年間休講していましたが、2025年度より再開することが決定いたしました。

講習会の会場は、看護教育発祥の地である慈恵看護専門学校内にあり、学生がすぐそばにいる環境の中で学べます。隣接する東京慈恵会医科大学の図書館では充実した文献検索ができ、自宅からでもリモートアクセスで文献入手が可能です。また、交通の便が非常に良い場所です。

本講習会の責任者（企画・運営担当者兼務）は、佐々木郁子（元慈恵柏看護専門学校副校長・当講習会4期生）が担当いたします。



過去の教務主任講習会での受講の様子

◎当講習会の特徴

- ・ 確かな教育実績
- ・ 短期間で集中して学ぶ！
- ・ 充実のカリキュラムと講師陣！
- ・ 学習環境がよい！
- ・ オンライン受講も可能！

◎費用

- ・ 選考料 10,000 円
- ・ 受講料 350,000 円
- ・ 雑費 5,000 円

※遠方から参加される方は敷地内にある看護師寮を借りることも可能です（有料）

2025 年 5 月開講に向けて準備中です。一層充実した当講習会の受講をぜひご検討ください。

カリキュラム等の詳細は、別紙パンフレット「東京慈恵会 教務主任養成講習会」をご参照ください。

<公益社団法人東京慈恵会について>

公益社団法人東京慈恵会は明治 40 年 7 月に社団法人東京慈恵会として設立されました。当法人が運営する慈恵看護専門学校は、明治 15 年(1882 年)に施療病院として設立された有志共立東京病院内に明治 18 年(1885 年)に開設した看護師教育所が始まりとなります。これは「日本最初の看護教育機関」であります。

<本件についての問い合わせ先>

公益社団法人東京慈恵会 事務局

〒105-8461 東京都港区西新橋 3-25-8

TEL 03-3431-0427

FAX 03-5400-1220



敷地内にある看護婦教育所創設之地記念碑



東京慈恵会

2025年度
募集再開!!

教務主任養成講習会

「東京慈恵会 教務主任養成講習会」は2012年より厚生労働省の承認を受けて実施しています。本講習会は、教務主任養成講習会ガイドラインにもとづき、優れた講師陣の協力を得て充実した教育内容と効果的なカリキュラム構成により、明日の看護教育を担う質の高い教育管理者の養成をめざしています。一時休講となっておりますが、このたび再開の運びとなりました！

募集人数 25名

開催期間 2025年5月9日(金)～8月30日(土)

募集要項、出願書類等は準備が整い次第、順次ご案内いたします

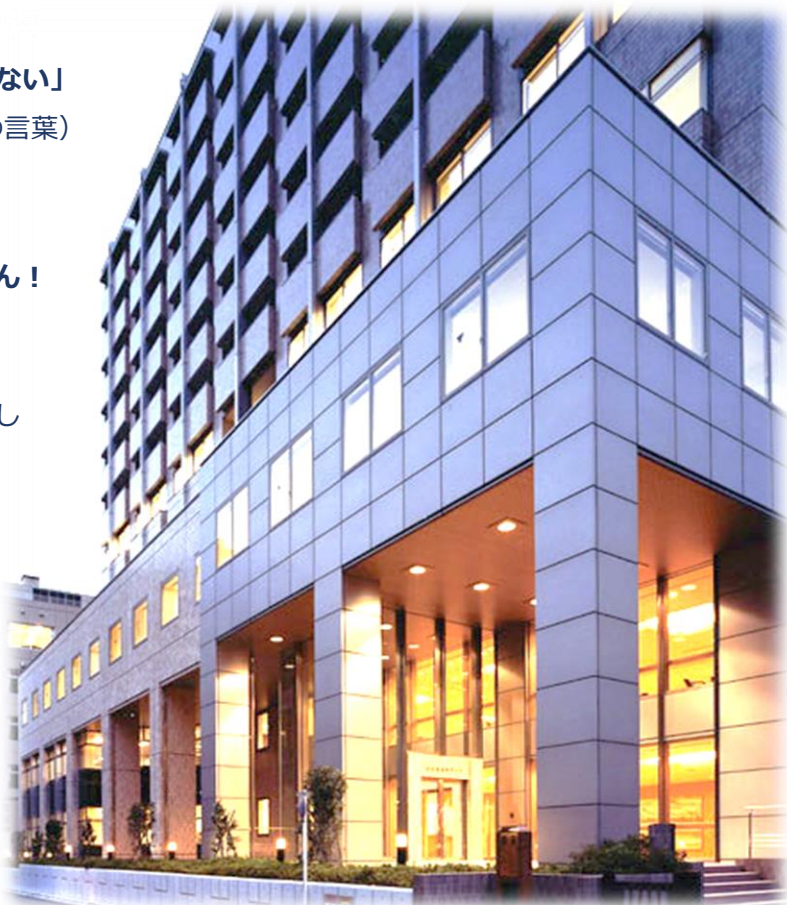
「良い医療には、良い看護教育は欠かせない」
(慈恵の創設者 高木兼寛の言葉)

良い看護教育には
質の高い教務主任講習会は欠かせません！

わが国の看護師養成発祥の地で、
看護教育を牽引する中心的人材を育成し
看護教育の質の向上に貢献します



看護教育発祥之碑



当講習会の特徴

◆確かな教育実績！

- 10年間で **165** 名の修了生が慈恵で学び、**全国で活躍** しています

◆短期間で集中して学ぶ！

- **4か月間** (5月~8月)で修了でき、自校の負担にも配慮
- 集中して学べるようカリキュラム配置
- **対面**授業メインとし、講師や受講生同士の直接的な交流を大切に



◆充実のカリキュラムと講師陣！

- 「**看護教育開発演習(研究)**」…研究的思考を深め、課題解決能力を高める
- 「**経営管理論**」…経営管理の基礎を学び、看護学校運営に活用する
- 「**組織の活性**」…組織のリーダーとして能動的に仕事をすすめ、活気ある組織作りに活用する
- **特別講義「教育評価」**…教育評価の基礎的な理解を深め、新しい教育評価を実践につなげる
- **特別講義「トピックス」**…看護専門学校をめぐる最新の課題について
- 講師・演習指導者…大学教授、看護大学教授、看護専門学校 校長・副校長経験者、企業の代表取締役、学校法人の理事経験者、講習会修了者で管理的役割を担う方々 等

◆学習環境がよい！

- **看護教育発祥の地** で、すぐそばに看護学生がいる環境で学べる
- 東京慈恵会医科大学 のキャンパス で学ぶ
学術情報センター図書館で **充実した文献検索**
図書館司書による親切、丁寧なサポート
自宅からもリモートアクセスで文献入手が可能



◆オンライン受講も可能！

- 状況によりLMS(オンライン学習システム)を活用した **ハイブリッド型** も整備
数回の来校以外はオンライン学習も可能 ぜひご相談ください

費用

- 選考料 **¥10,000**
- 受講料 **¥350,000**
- 雑費 **¥5,000**
- 遠方の方は、手頃な価格で敷地内の **寮** を借りることも可能です



修了式を迎えて



同じ方向に向かう仲間とともに

カリキュラム予定

- 講義・演習 14単位／8科目 345時間 月曜日～金曜日 9:30～16:30
- 特別講義 15時間

	5月	6月	7月	8月
	開講式 オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション	夏季休暇 まとめ 修了式
看護教育方法・評価開発	←→			
看護教育方法・評価開発演習	←→			
看護学校経営論	←→			
看護学校経営論演習	←→			
看護教育課程開発	←→			
看護教育課程開発演習	←→			
看護教育開発演習(研究)	←→			
特別講義	←→	←→		

抜群の
通いやすさ!!

アクセス

- 東京駅や羽田空港が近く、遠方からでも **アクセスしやすい**
- 地下鉄、JR等多くの路線を利用でき、いずれも最寄り駅から徒歩3分～12分
- 周辺には、おいしい飲食店、ショッピングエリア、観光スポットがたくさんあり、**気分転換しやすい!**



- 都営地下鉄三田線 御成門駅 徒歩 **3**分
- 東京メトロ日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅・神谷町駅 徒歩 **5**分
- 東京メトロ銀座線 新橋駅・虎ノ門駅 徒歩 **10～12**分
- JR山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線 新橋駅 徒歩 **10～12**分

修了された方々の声

3期生(2014年度修了)高橋 幸恵さん

●「慈恵の講習会」ここが良かった！

職場を離れて学習に専念し、学び、考えることに集中できたこと。濃密な時を過ごし、かけがえのない友を得られたこと。先生方から励ましや認めていただき、手厚いサポートが受けられたこと。看護教育という同じ目的を持つ組織であって文化の違いがあり、世界観が広がったこと。大学図書館や文献検索システム等が利用でき、学習環境が整っていたこと。教務主任の経験がない段階での受講で不安や迷いがありましたが、背中を押していただき覚悟ができました。関係者の皆様のご尽力により様々な環境を整え、学びの場を与えてくださったこと、本当に感謝しております。

●私にとって最も学びとなったのは…

長い時間をかけ、たくさん熱い意見を交わした教育課程開発の演習です。はじめは文献を頼りに見よう見まねでしたが、最後は自分たちの言葉で表現できました。その考えは、今でも私の根幹となっています。新カリキュラムの準備では、関連7校の校長・副校長・教務主任が集まり、数年かけて検討を重ねました。「実践版 看護教育課程開発」です。全員が講習を修了していましたが、共通言語を用い、考えをすり合わせながら教育課程を作り上げることができました。講習会での学びを実践で活用していく中で、さらに学びが深まりました。

●修了後はこんな活動をしています

修了後は、教務主任を経て現在は副校長を務めています。教務主任時代には同期と同じ職場だった時期があり、講習会での学びを活かし様々なことにチャレンジすることができました。講習会を修了した教員が各校に複数いることが望ましく、推進力が高まると思います。日々の教育活動では、判断できないような困難な場面に遭遇することもあります。基本に立ち返り「看護基礎教育で大事なことは何か」を考え、また仲間に相談しながら解決しています。時々同期と集まり、悩みを相談したり、教育談議に花を咲かせ、リフレッシュしています。

●心に残った思い出

思い出は数知れず、今でもたくさんのが蘇ります。初日の緊張と不安、深夜まで取り組んだレポート、帰宅後もメールを活用しながらのグループワーク、演習発表会の時のドキドキ、目からウロコの驚愕の学び。困難だった課題ほど記憶に残り、大きな学びとなりました。隙間時間に食事を楽しみ、たくさん語り合った仲間。仲間が学びを助け、深め、心の支えとなりました。みんな頑張っているから私も頑張れる。職場や家族の協力の感謝し、そして先生方には本当に大切に育てていただいたと感謝しています。教務主任としての学びだけでなく、人としての成長ができた機会だったと思います。

5期生(2016年度修了) 中安 ゆかりさん

●「慈恵の講習会」ここが良かった！

- ①教育活動や学校運営で困難に感じたことを相談できる仲間ができました。今でも同期の交流は続いています。教務主任という立場は、学校では孤独を感じることもありますが、慈恵の仲間たちがいるお陰で様々なことを乗り越えられています。
- ②漠然としか分かっていなかったことを学び「わかる」実感を得られました。
- ③講師の方々から、講義中にたくさん承認を得られました。承認すること、されることの必要性が実感としてわかりました。
- ④学校運営のリーダーとしての自分の課題が明確になりました。「慈恵」での学びは、忙しさを理由に目を背けてきた自己の弱みに向き合うかけがえのない時間でした。

●私にとって最も学びとなったのは…

カリキュラム開発の過程において大切なことを身をもって理解できました。慈恵の講習会で「学ぶこと」を「喜び」と感じる自分を発見できました。慈恵のカリキュラムは、日々の学びがジグソーパズルの一片一片であり、修了時にすべてが繋がって大きなパズルが完成する感覚を得られました。その時の身が震えるような感動は、今でも鮮明に覚えています。私も学生が学びを終えたときに喜びを感じ、その先も学び続けたいと思えるようなカリキュラムを開発したいと強く考えるようになりました。

●修了後はこんな活動をしています

慈恵での学びを活かし、カリキュラム改正では独自性のある看護技術教育・領域横断科目等のカリキュラムを構築することができました。地域貢献も大切な学校使命であることを学んだので、近隣の中学校の職業体験の受け入れや地域清掃ボランティアなどの活動を取り入れました。固定概念を捨て、学生が楽しく学べるような教育内容を考え、実施しています。

●心に残った思い出

- ①初日にフールツバスケットを行っていたが、緊張が解れたこと。
- ②誕生日に先生方と講習会の仲間から祝福されたこと。
- ③美味しいお店がたくさんあり食べ歩いたこと(笑) 病院内のお蕎麦屋さんには本当に良くお世話になりました。
- ④課題の多さや教室掃除、当番など、学生の立場や気持ちを改めて認識できたこと。
- ⑤講習会修了後も仲間と旅行や食事に行くなど、今でも交流が続けられていること。

4期生(2015年度修了) 佐藤 尚治さん

●「慈恵の講習会」ここが良かった！

コロナ禍以降、オンラインで講習会を受講することが増えているかと思います。オンラインでの受講は、遠方からでも時間と経済的負担を軽くし受講しやすくなるというメリットもあり、学びの内容によってはとても有効な方法かと思えます。しかし、私にとって学びとは広がりのあるもので、時には受講生同士の雑談から得られるものも重要です。慈恵の講習会では他の受講生との出会いや、時に先生方からの励ましの言葉や叱咤激励など、同じ場にいればこそ得られる学びと、その学びを維持するモチベーションを得ることができました。教員としてまだまだ未熟であった私にとってそんな環境は何にも変え難い学びの場であったと思います。

●私にとって最も学びとなったのは…

講習会を通して教務主任としてはもちろん、教員として大人としての姿勢を学びました。時に講義内容は自分の価値観とは合致しないと感じる内容もありました。そんな時、他の受講生との会話や講習会の先生からの言葉で、自分本位の価値観で講義を受け止めていたことに気づきました。私たちは社会人としての経験があるあまりマイルドセットしてしまっていることが沢山あります。学ぶ上でマイルドセットをほぐす必要性を実感できたことは大きな学びでした。

●修了後はこんな活動をしています

講習会では教育方法や評価・教育課程・学校経営など様々なことを学びます。私は可能な限り学んだことを日々の教育活動の中で都度振り返るようにしてきました。講習会修了後、縁があって日本看護学校協議会の活動のお手伝いや、雑誌の執筆などを行って頂いていますが、私が行ってきた活動を改めて振り返ると、それは時代や社会の要請に応じて講習会での学びをアップデートしてきたことであると言えます。たまたま、そのことが様々な場面で発信できたことは、講習会での出会いが私と誰かを繋いで広げてくれた縁によるものであったと感じています。

●心に残った思い出

私が講習会を受けていた頃は、7ヶ月ほどの期間でした。しかし、講習会での学びはその後も続きました。時には講習会専任の教員に相談をしに行くこともありましたし、日本看護学校協議会の教育委員で一緒にさせて頂いた際には、私の意見を先生に後押しして頂くこともありました。年齢とともに恩師と言える方は現場を離れていき、自分自身が誰かの支えにならなければいけません。それでも幾つになっても時に甘えたり、相談できる場があって良いのではないかと思います。具体的にには恥ずかしくて言えませんが(笑) そのような場面が私にもありました。それが今も心に残る現在進行形の大切な思い出です。

8期生(2019年度修了) 末藤 智子さん

●「慈恵の講習会」ここが良かった！

日頃、文献でお名前を拝見している高名な先生方に教授いただけただけです。先生方は、基本から学校に戻って実践できる内容まで詳しく授けてくださいます。講義中は、脳内フル回転で必死でしたが、知識と共に思考力、創造力は確実に高まったと実感しました。また、演習では、担当の先生方がグループや個人の状況を見ながら、丁寧にご指導くださいました。自分の力の無さに先が見えなくなった時でも、常に励まし続けてくださったことは、いかなる時でも「学生の成長を信じる」ことにつながっています。

●私にとって最も学びとなったのは…

「看護基礎教育の本質」についてです。教育課程開発や教育方法、評価、学校運営に関する様々な講義や演習を通して「看護基礎教育において最も大事なことは何か」について常に考える機会をいただきました。日頃、教育の現場では、思いもよらぬ出来事に出くわします。悩み、なかなか答えにたどり着かない時、「ここで学生が成長するために何が必要なのか」と『本質を問う』ことを忘れないよう心がけています。講習会での学びがなければ、この4年間を乗り越えることはできなかったはずで。

●修了後はこんな活動をしています

学校経営と教育開発の演習では、多職種連携教育に関する知見を得ることができました。現在、学生は多職種連携やチーム医療についての学習に取り組んでいますが、教員もまた、同じように医療機関や実習施設と連携を図りながら学び合うことが重要だと考えています。そこで、地域の施設や行政、あるいは小中学校へ積極的に声をかけ、連携により互いに支援出来る関係づくりに取り組んでいます。

●心に残った思い出

私達8期生は、開講当初に全員で意見を出し合っ、クラス目標を立てました。キーワードは、「感謝」「謙虚さ」「愉しむ心」そして「チャレンジャー」。苦しい時や緊張が高まった時など、目標を声に出し合いながら支え合っ進むことができました。同じ目標を持った仲間と共に学びを深めることができたことは、一生の宝物です。いまでも連絡を取り合い、絆はつながっています。



公益社団法人 東京慈恵会 教務主任養成講習会

